

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

(公益社団法人) けいしん神奈川

②施設・事業所情報

名称：葉山町立 葉山保育園	種別：保育所	
代表者氏名：山梨 崇仁	定員（利用人数）：100（104）名	
所在地：三浦郡葉山町堀内2050-9		
TEL：046-875-6246	ホームページ： https://www.witown.hayama.lg.jp/kosodate/nyuuen/4/4137/html	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：昭和48年4月		
経営法人・設置主体（法人名等）：葉山町		
職員数	常勤職員：17名	非常勤職員 35名
専門職員	園長1名 保育士14名	保育士22名 事務員2名
	栄養士1名	調理員9名
	庁務員1名	看護師2名
施設・設備の概要	（居室数）6室	
	（設備等）保育室・ホール・調理室・事務室・予備室	

③理念・基本方針

子どもの主体性を大切にし、1人ひとりが主役の楽しい保育を目指しています。遊ぶこと・食えること・友だちが大好きな子になってほしいと願い、次のような保育姿勢を心がけています。・子どもの気持ちを受け止めながら、安心した園生活が送れるように援助します。・発達に合わせた遊びの環境を整え、保育者も一緒に楽しさを共感します。・保護者の思いを受け止め、育児を支援します。・保育者同士情報共有に努め、チームワークを図りながら専門性を高めていきます。・保育者は常にいきいきと心豊かに過ごせるよう心がけていきます。

④施設・事業所の特徴的な取組

葉山町内唯一の公立保育園として、葉山町の保育園・教育総合センターの1階に位置し、目の前には花の木公園があり、春は桜や、つつじが満開となり、豊かな自然に囲まれた好立地な場所にあります。園は広い園庭と広いホールを備えた、子どもたちが伸び伸び活動できる環境です。100名定員で、産休明けから就学前までのお子様をお預かりしています。発達で心配なことを相談できるたんぽぽ教室との交流もあり、障害児の受け入れをしています。

防犯カメラを10台設置し、外部の侵入者や、園内の様子が見れるようになっており、安全に配慮しています。

給食は園内で調理し提供、子どもたちのリクエストにもこたえたお楽しみ給食の日もあります。食材を調理する前の皮むきなどもお手伝いしています。誕生会の日には毎回ケーキを焼いて提供しています。毎日の手作りのおやつも好評です。

行事としては、こどもの日・プール開き・七夕・園外保育といったことに加え、季節ならではの体験も大切にし、お餅つきや節分でイワシを焼いたりするなど家庭で近年体験しにくくなったことも友だちと楽しんでいます。保護者の方との懇談会や保育参観、保育士体験をしていただく保育参加も実施しています。年長児はお泊り保育もし、自分たちで食事の支度をしたり、スイカ割、花火などを楽しみます。地域の方との交流もあり、町内の栄養士会の皆様による食育の教室や、ボランティアによるお話会があります。老人保健施設に年長児が敬老のお祝いに行かせていただいたり、警察署のお仕事を見学させていただいています。御用邸に天皇皇后両陛下がおいでになるときには、お出迎え、お見送りもさせていただいています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年9月6日（契約日） ～ 令和2年3月24日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（ 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. 子ども一人ひとりを大切に、優しく寄り添った保育が行われています。
 理念・基本方針の冒頭に「子どもの主体性を大切に、1人ひとりが主役の楽しい保育を目指しています。」を掲げ、子どもの気持ちを受け止め、安心した園生活を送れるように、それを可能にする環境の整備に努めています。新指針による体制への移行・確立を重視し、子どもの発達に合わせた「遊び」や「生活」の環境を整え、町、関係機関への働きかけ、連携など総合的な視点をもって「見える化」を図りつつ、園の業務を進めています。

2. 職員は密接に連携・協力し、互いに助け合い子どもの成長をしっかりと後押しし、保育の質の向上に繋げています。
 日々心身ともに大きく成長している子どもたちに対し、保育の現場では臨機応変、柔軟な対応が求められます。このような状況にしっかりと対応するため、保育士は互いに協力し助け合い、チームワークを発揮しながら日々の保育に臨んでいる姿を随所に見ることができました。
 今回の訪問調査でも、職員に対するヒアリングにおいて「仲良く連携・協力し互いに助け合っている」「アットホームな雰囲気、力を合わせて保育にあたっている」などの意見が多数聞かれ、職員は連携し、チームとして信頼感が醸成されている証であると思います。この体制をしっかりと維持・継続・発展させて行かれることを期待します。

◇改善を求められる点（引き続きの改善努力が期待される点）

1. 園の運営全般にわたり、町をはじめ関係機関との連携や情報収集の強化が引き続き求められます。
 行政機関としての町の規模、町内唯一の公立保育園であることを考えると、横浜や横須賀などの隣接する大都市の保育園に比べ、活動全般の領域や収集できる情報量も若干制約を受けることも否めません。この状況を克服、改善するためにも、引き続き町や関係機関などとの密接な連携、情報の収集に努力されることが期待されます。

2. 事故を受け、安全な保育に関する引き続きの努力がもとめられます。
 平成28年度に発生した園児の事故を受け、保育体制の見直しや、環境の見直し、外部研修のみならず園内での学び合いなどを行っていますが、再発防止に向け

た改善努力を引き続き行うことが求められます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

葉山保育園は、今回初めて第三者評価を受審しました。

神奈川県内にいくつかあった評価方式が統一されるときで、今後も使用する神奈川方式にて実施しましたが、今年度まで使用可能の横浜方式とは評価基準点が違うため、低い評価と勘違いされないかと不安になり、0評価はBで「出来ている」という基準であることを皆で確認しました。

運営や経営面の項目は公立保育園にとって、社会福祉法人等に必要な書類等が当てはまりにくく、難しさを感じました。

保育に関しては、これを機に、すべての職員が集まって、互いの保育感や、子どもへの対応方法などじっくり話し合うことにつながり、大変有効な時間となりました。項目ごとに自分の保育を振り返りながら考えていくことで、保育の視点を再確認できました。シフト勤務で、なおかつ様々な雇用形態の職員が51名いる状況の中で、時間の捻出は厳しかったのですが、それ以上に話し合いが十分できたことが大変有意義なものになりました。

けいしん神奈川さんは丁寧な聞き取り、現場の確認、職員の聞き取り、話し合いなどしっかりとしていただき、新方式の解釈についても丁寧に説明して下さり、大変心強く、感謝しております。

改めて、第三者評価の受審はより良い保育を求めるために大変役立つことを皆で確認し、改善すべき点も含め、職員一丸となって保育の質向上に力を注いでいきたいと思いました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり